

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

雪兆す雲に追われて夕鴉 稲田 文江
 日脚伸びるめのように猫ねむる 大山みどり
 コミバスに乘客二人雪解急 長谷川アキ
 春一番富山なまりの太き声 福原 仁子
 仏花買う好きだったよね桜餅 松尾恵美子
 魚のごと街へ出てゆく雪解かな 高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

課題吟 飾る
 春連れて孫がひな餅飾りくれ 橋本 葉子
 着かざって隠せない雛見ずにおく 大山 冨
 燦然と地球を飾るLED 山村 幹雄
 着飾って背筋を伸ばす春一步 阿部 麗紅
 花飾る春待つ窓辺に雪が舞う 星 愛子
 飾り羽根すました顔の雪だるま 加藤 未貴

川柳

上浦幌句の会

雪溶けて土の匂いが懐かしい 高橋 幹雄
 日当たりにかれんに咲く福寿草 元旦に「初日きれいよ」と看護師の声
 あたたかな春風吹くよ猫柳 笹島カヨ子
 朝ドラマ見ようとすれば日曜日 河村みよ子
 熱々のおそば頂きまつり見る 他愛ない話はずんで長電話 芳川 乙美
 輪になってデイスリーブで福笑い 食品の値上がり困る国民よ 加藤 明敏
 初めての習わぬ歌の声ふるえ

短歌

心友愛会

雪降りて会の人造一つのわ 小川 房子
 明るく笑顔ひつじ年だよ 耳口が働くうちに浦幌の 前川 静江
 住み良い事を次世に伝えよう 足痛くいつも家の中心まで 小澤 つや
 ぱつとしない毎日がつづく 孫たちと笑顔で出かける食事会 角田美代子
 これからもなお幸多かれと 弟が眠りの中で微笑みを 長屋美代子
 見つけて思う我も幸福 木の枝に雪が重なり花のよう 堀井あやの
 鳥が舞い降りみな散らしていく 雪かきと犬の散歩の明け暮れで 一日が終わる私の日々つづく 山岸 明美
 大雪で買物行けず食事ぬき 少しは痩せたか体重はかる 山久保敬子
 冬枯れの木はらの中ほつこらと 柳が芽吹き春を告げてか 佐藤 成子
 人生の浮世の定め何事も 小さな日々の選択重ね 星 愛子

編集後記

■東日本大震災から4年。3月11日を「防災教育の日」としている厚内小学校の避難訓練を取材しました。いつもは天真爛漫な子どもたちが、防災の話になると見せる全く違った表情に、海と共に暮らすことの意味を、全身で受け止める覚悟を、ひしひしと感じました。

■町内2中学校の卒業式がありました。感謝の言葉述べる子どもたちの姿、別れを惜しみ涙を流す子どもたちにこちらも胸が熱くなりました。高校が無い浦幌では町外の高校を選ばざるを得ませんが、この子ども達が愛するふるさとを守り、より良い町にして帰って来れるようにしてあげなければと感じています。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。